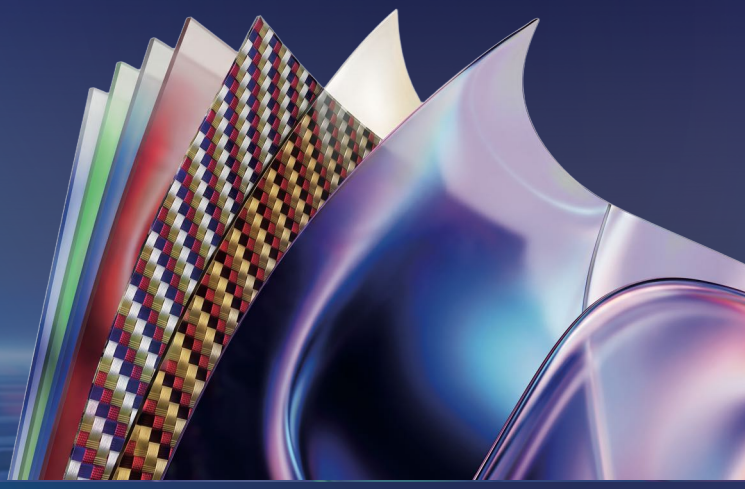
EVNIA

PHILIPS製
QD-OLEDゲーミングモニター

別世界へ導かれる 、驚きの映像美。
すべてを凌駕する機能。
高みを目指すあなたの、最強の武器。



QD-OLED

まるっと5年保証

27M2N8800/11 27M2N6501L/11 27M2N6500NS/11

アンチ焼付き スマート冷却システム

ダイナミックAI冷却テクノロジー
使用状況に応じて最適な冷却を
自動制御

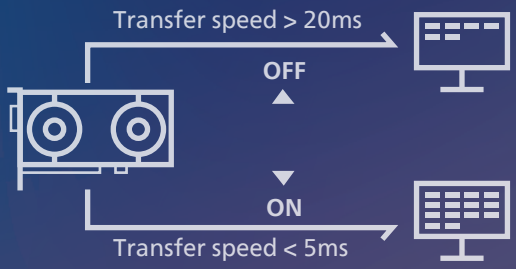
静的タスクバーの自動検出機能
画面焼き付きリスクを軽減

熱制御システム
安定したパフォーマンスを保つ
温度管理技術



Zero Sense 同期加速テクノロジー

強化されたハードウェアによる
低遅延入力を実現



AIによる暗部補正機能

IStark Shadow BoostJ
搭載で、暗所の視認性を向上

FPSゲーム向け補助機能

低入力遅延／スマートクロスヘ
アで正確なエイムをサポート

PHILIPS

EVNIA

27M2N8800/11



4K-240Hz高リフレッシュレート
滑らかで没入感のある映像体験







最大輝度 1000ニット
明るい環境下でも鮮明な表示

HDMI 2.1

DisplayPort

27M2N6501L/11

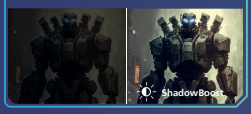
AI強化型 Ambiglow



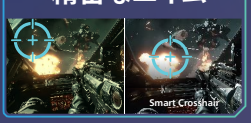
究極のスピード



圧倒的な視認性



精密なエイム



HDMI 2.1

Quad HD

0.03ms

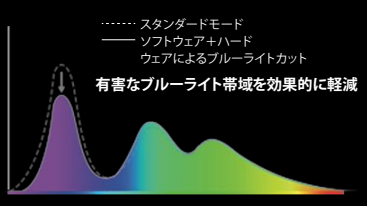
27M2N6500NS/11

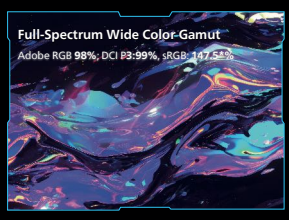




0.03ms
Response Time

VESA CERTIFIED
ClearMR 8000





HDMI 2.1

3H
hardness

Anti-reflection

PHILIPS

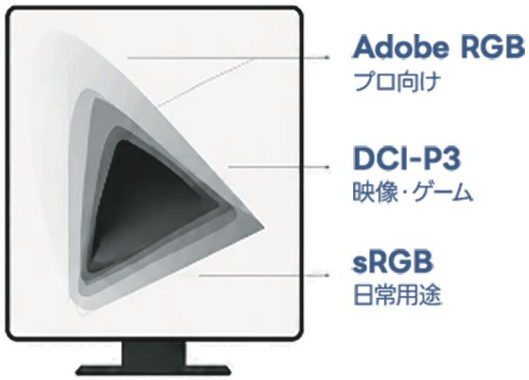
色域 vs 色深度

「色がキレイ」を決めるのは、この2つのポイント

色域

色域：モニターが表現できる色の範囲

色域が広いほど、より多くの色を表現できます。



かんたんに説明すると

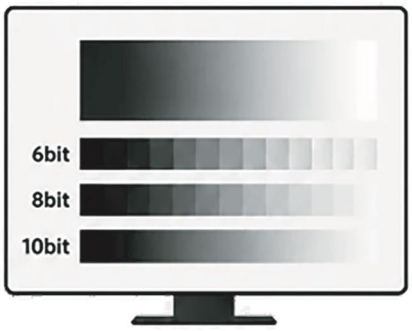
色域＝絵の具セット

色域が広いほど、
使える色の種類が増える

色深度

色深度：色の階調をどれだけ滑らかに表現できるかを決める

色深度が高いほど、グラデーションがより滑らかになります。



かんたんに説明すると

色深＝同じ色の階層

色深度が高いほど、
色の変化をより細かく表現できる

まとめ

色域
表現できる色の「範囲」

色深度
色の変化の「滑らかさ」

この2つを組み合わせることで、より自然で美しい映像表現に。

EVNIA

PHILIPS

色深度 6bit / 8bit / 10bit 違いはどれくらい?

色深度は、色のグラデーションの滑らかさを左右する

色深度の単位はbit。 数値が大きいほど、色の階調をより滑らかに表現できます。

6bit
エントリーレベル

色の階調が少なく、
グラデーションで色の境目が
目立ちやすい



表現イメージ

グラデーションが粗く、
色のつながりが不自然に
見える可能性もある

目標ユーザー

基本おすすめしません

8bit
スタンダード

約1,670万色を表現でき、
日常使いに十分



表現イメージ

色のつながりが自然で、
オフィス・ゲーム・動画視聴に
おすすめ

目標ユーザー

多数のユーザーにおすすめ

10bit
クリエイター・ゲーマー向け

約10.7億色の色を表示でき、
より滑らかな色のグラデーション



表現イメージ

色の階調が豊かで、
グラデーションも滑らか

目標ユーザー

写真/動画編集・映像制作・
デザイン・ゲーマーなど

POINT

ネイティブ10bit ▶ ディスプレイ本体が10bit表示に対応

8bit + FRC ▶ アルゴリズムによって、より多くの色を擬似的に表現

6bit おすすめ度低め

8bit 日常使いにおすすめ

10bit クリエイティブ用途におすすめ

一般用なら8bit、プロシーンならネイティブ10bit!

EVNIA

PHILIPS

色域 sRGB / DCI-P3 / Adobe RGB どう選ぶ？

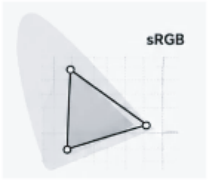
色域は、モニターが表現できる色の範囲を左右する

色域が広い＝一律に良いわけではありません。　用途に合った色域を選ぶことが大切です。

sRGB

日常使いに

オフィス、Web、ゲーム、動画視聴など 幅広い用途に対応



目標ユーザー

一般ユーザー

目 安

100% sRGB以上

メリット

・正確な色再現で、様々な用途に対応
・多くの色が正しく表示可能
・価格とのバランスも取りやすい

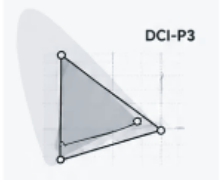
デメリット

・より広い色域が必要な用途には不向き

DCI-P3

ゲーム・映像におすすめ

ゲームや映画など、より鮮やかな色表現を楽しみたい方に



目標ユーザー

ゲーマー・動画視聴を楽しむ方

目 安

90% DCI-P3以上

メリット

・透明感のある広い色域
・ゲームやHDRコンテンツと相性が良い
・クリエイティブ制作にも相性が良い

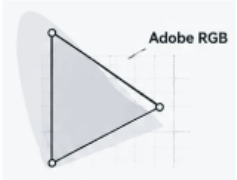
デメリット

・一般的な用途では色が鮮やかすぎる可能性も

Adobe RGB

プロフェッショナル向け

写真・印刷・プロ向けデザインなど、より広い色域が必要な用途に



目標ユーザー

カメラマン・プロ向けデザインに携わる方

目 安

99% Adobe RGB以上

メリット

・広い色域をカバー
・細かな色表現が求められる用途に対応

デメリット

・一般用途ではオーバースペックになる場合も
・色域管理など、専門的な知識が必要

POINT

色域が広ければ、必ずしも「正しい色」とは限りません。

用途に合った色域を選ぶことが、自然な色表現への近道です。

sRGB 日常使い

DCI-P3 ゲーム・映像

Adobe RGB プロ用途

「何に使うか」で選ぶのがおすすめ！

EVNIA

PHILIPS

サイズと解像度、いったいどんな関係がある？【その②】

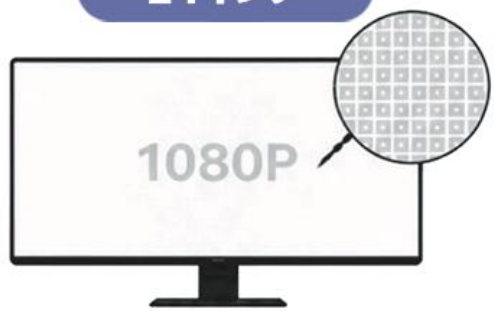
なぜ同じ1080Pでも、24インチのほうが32インチより細やかに見える？

ポイント

解像度が画素数を決め、サイズが画素の分布を決める。
同じ画素数でも、より小さな面積に配置されるほど、画面はより細やかになる。

比較例 同じ1920×1080（1080P）でも、サイズが違うと、鮮明さに大きな差が出る

24インチ



PPI ≈ 89

画素が集中

画素が密集しているため、画面が細やかで、
文字も鮮明

32インチ



PPI ≈ 69

画素が広がる

画素がまばらなため、粒状感が目立ち、
文字がややぼやける

なぜこうなる？



解像度 = 画素数

例えば、1920×1080
= 2,073,600画素

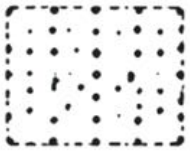
÷



サイズ = キャンバスの大きさ

例えば、24インチ / 32インチ
キャンバスの面積が異なる

=



PPI（画素密度）

単位面積あたりの画素数が多いほど
画面はより細やかになる

まとめ

解像度が総画素数を決め、サイズがそれらの画素がどのように分布するかを決める。
同じ解像度なら、サイズが大きいほどPPIは低くなり、画面に粒状感が見えやすくなる。

EVNIA

PHILIPS

リフレッシュレートは高いほど良い？

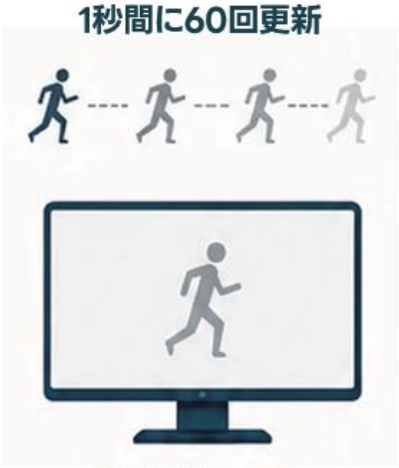
Hzは画面の更新回数を表し、映像の滑らかさや操作感にも影響します。

リフレッシュレートとは？

1秒間に画面を更新する回数のこと。
数値が高いほど、映像はより滑らかになります。

60Hz

1秒間に60回更新



まあまあ滑らかで、
日常使用におすすめ

144/165Hz ★

1秒間に144〜165回更新



現在の定番・人気帯
映像がより滑らかで、操作もしやすい

240Hz+

1秒間に240回以上更新



究極の滑らかさ。
FPSプレイヤーにおすすめ！

用途別の選び方

仕事・動画視聴

60〜100Hz

・オフィス作業、Web閲覧、動画視聴
・60Hz以上でより快適

ゲームユーザー

144〜180Hz

・多くのゲームにおすすめ
・滑らかさとコスパを両立

FPS・競技ゲーム

240Hz+

・応答速度と滑らかさを重視
・eスポーツ選手・上級者向け

まとめ

リフレッシュレートは滑らかさを左右しますが、高ければ高いほど良いとは限りません。
用途やPC性能に合わせて選ぶことが重要。

EVNIA

PHILIPS

モニターパネルの選び方

IPS・VA・OLED、それぞれにメリット・デメリットがあります。

パネルを決めるポイント

色再現性	コントラスト	応答速度	視聴体験
色の正確さや鮮やかさに影響	明暗表現や立体感に影響	動きのある映像の見やすさに影響	長時間使用時の快適さに影響

絶対に優れたパネルはなく、自分に合った選択が重要。

IPS

バランス重視



メリット
- 色再現性が高い
- 視野角が広い
- リップル現象なし

注意点
- コントラストは標準的
- 黒表現はOLEDに及ばない

おすすめ用途
ゲーム / 仕事 / デザイン

多数のユーザーにおすすめ

VA

高コントラスト



メリット
- 黒表現に優れる
- 高コントラスト
- 映画や映像を楽しみやすい

注意点
- 製品によっては応答速度が遅め
- 残像を感じる場合がある

おすすめ用途
映画・動画 / 仕事 / 高コントラスト重視

映画や暗いシーンのゲームが好きな方におすすめ

OLED

最高クラスの画質



メリット
- 自発光で黒が美しい
- 超高速応答
- HDR性能に優れる

注意点
- 価格は高め
- 長時間の静止表示には注意

おすすめ用途
ゲーム / 映画 / クリエイティブ

画質を重視する方におすすめ

選び方

普段使い → **IPS**

映画・動画重視 → **VA**

最高画質を求めるなら → **OLED**

まとめ

パネルに絶対的な優劣はありません。
色、コントラスト、応答速度のどこを重視するかで選びましょう。

EVNIA

PHILIPS

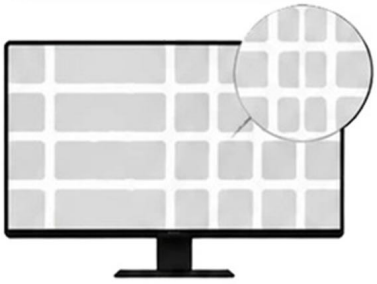
画面が大きいほど、なぜより高い解像度が必要？

同じサイズでも、解像度が高いほどPPIが高くなり、より細やかで鮮明な表示ができます。

基本の考え方：
解像度アップ＝ ピクセル数が増加＝ ピクセルがより密集＝ PPIが向上 ＝ より鮮明な画面

27インチを例に 同じサイズで、解像度による精細さの違い

1080P（1920×1080）

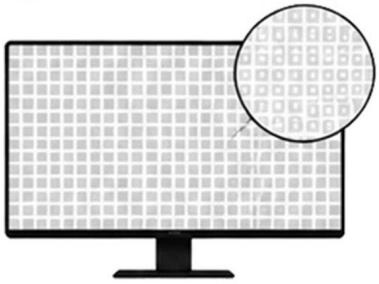


PPI ≈ 81

粒状感が目立つ

文字のエッジにギザギザ感が目立つ

2K（2560×1440）

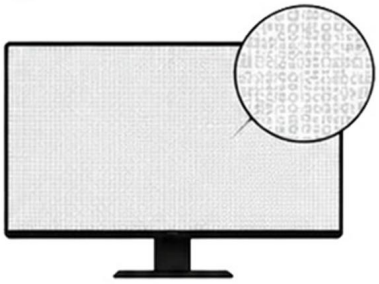


PPI ≈ 108

精細さが向上

文字がより滑らかで、細部もより鮮明

4K（3840×2160）



PPI ≈ 163

非常に細やか

ほとんどピクセルが見えず、精細な画面を満喫可能

PPIが高いほど画面はより細やか



PPIって、いったい何？

PPIは、一定の面積内にどれだけピクセルが存在するかを示す密度です。
PPIが高いほど、同じ面積内のピクセル数が多くなり、
より鮮明で細やかな表示になります。

PPI ＝ ピクセル数 ÷ 画面面積
（単位：ピクセル／インチ）

まとめ

画面サイズが大きくなるほど、解像度を上げないとPPIが低下します。
PPIが低いと、画面のぼやけや粒状感が目立ち、
文字や細部の鮮明さに影響します。

EVNIA PHILIPS